
封じられた過去

フェニックス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

封じられた過去

【Nコード】

N2366Z

【作者名】

フェニックス

【あらすじ】

人間の知らない精神の世界。それは心を浄化する者力オス軍と蝕む者ソーサラーの戦いだった。それは力オス予備軍。陰陽師学園生達の物語だった。

封じられた過去

烈火 シャクヤ達の活躍により、リストラされたサラリーマンの日本刀立てこもり事件は解決したらしい。シルバートックスはその光景を見ていた。

「付け入る隙があつたのか。人間よ。デットアントラに蝕まれた精神は徐々に回復するだろう。彼もまた孤独。この町は孤独であるから欲望にすぎるだけ。それが彼等の住みかになることすら知らずに」

小さなライブハウスでは重低音のメタルが溢れていた。そこにスパイダーはいた。メガデスのトラストが流れていた。「…………欲望に支配された町で、俺達は信頼関係を無くす。お前と俺にはラブなど無いのだ……………」

「またしてもカオスの若造が！次は少しヘヴィにしなくてはならんな。また捜すとするか。迷走者を」

「なあ、シルバーオックスってこのカオスの名簿に無いけど違う部署なのかな?」「……………ありえん。学園の訓練生は管理された体制で訓練しているんだ。他の部署が介入するなどあり得ないさ」「……………じゃあこの学園の誰かが?」「……………それなら可能だが。何もしなかった。つまり、監視されていた。気になるなら俺の分析が終わったら調べとくが」「いいよ。俺に用があつたみたいだから。自分で調べる」「そうだな。あるいは卒業生が気になって暇潰しに来たとかそんな類いだろ」

「お待たせー!ダーリン。待った?」「……………学生服はまずいだろう。学生服は。誰かに見られたら退学じゃないか?まあ良い。ホラ!コートを貸してやるから羽織れ。冷えるからな」「ありがとう!クンクン……………ハー良い臭いね。香水変えたのね。どこの?」「フアントムさ。好きかい?」「アア、最近話題の?。高いんですよ。手に入らないって噂よ。オークションじゃ、定価の100倍の値がついてたわ」「そうかい?詳しいんだね。最近のファッションリーダーは」「ネーネーダーリン!おねだりしても良い?」「みずほ得意の上目遣いで落とす。」「カツ……………構わ無いさ。結構な値がするんだぜ。それ……………」「イヤーン!お願いお願い!サービスするからさ。ネツ……………良いでしょ?」「……………わかった。わかった。これっきりだからな。明日には注文しとくよ。届けるから。サアサア、ドライブ、ドライブ。美味しいディナーのお店を予約しといたから行こう」「ウン!ありがとう!ダーリン」

チヨロいもんね。制服姿で猫なで声を出せば直ぐに落ちる。大人なんてそんなもんよ。

「ン？なんか言ったかい？みずほちゃん？」「ン？何も…………アラ？素敵なロケーションじゃない？ここ」「アア。たまに撮影に来るからね。気に入ったかい？」「知ってるわ。この前見たもの。先週のドラマ見た？最高よね。来週が楽しみだわ」「来週はねー」「言わないで！楽しみが無くなるもの。確かに貴方が監修したドラマは最高だわ。特に見せ場のカメラとBGM」「着いたよ。好きな物を頼みな」「エー！本当に？えっと…………パフエでしょ。ケーキでしょ。あんみつにアイスに…………エーイ！みずほ特製スイーツ全部乗せ！スイマセーン。ここからズウィットあそこまで全部！」「…………一応…………超一流のレストランなんだけどなー」「何か言った？暇なら運んで。ワゴンに乗ってるスイーツ全部」「…………私は…………紅茶を……………」

「ハー満足満足。ありがとねダーリン」「スッ……………凄い食欲だね。スイーツ全部食べりゃソリヤー幸せだろうね」「だって。育ち盛りだし普段食べられないのよ。ありがとねダーリン。お土産まで買ってくれて。アアここで良いわ。降ろして」「今日は楽しかったよ。また電話して。行くから」「ハイハイ！ジャーねー！アア、コートありがとね」

「ただいまーママー！いないのー」

ガッシャーン！「だからお前の育て方が……………」「うるさいわねー！あんただって親でしょ！」

……………また喧嘩か。懲りない夫婦だよね。全く。……………

みずほは黙って二階の部屋へ行き、鍵をかけた。

私はこんな家庭だから。男の愛し方も知らない。男とは喧嘩するもの
のしか教わっていない

「みずほちゃん？帰ったの？」「ウン。今ね」「ごめんね。みずほちゃん。ママね、また離婚するから」「良いよ。別に。慣れてるから」「夕飯用意してあるわよ」「要らない。食べて来たから。ハイ。

お土産」「アラそう？明日は早いの？」「普通だから。お風呂空いてる？」

彼のコートに付いたファントムの香水の臭いがまだしていた。

「スパイダー様。今戻りました」「御苦労。どうだね？祐希みずほの具合は？」「経費が掛かりますがマズマズですね。必ず落として献上しましょう」「フム。下がって宜しい。デットアントラー。御苦労であった」

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2366z/>

封じられた過去

2011年12月8日15時58分発行